

第 2 次アンケート調査結果報告（概要版）

1. 調査目的

新宿区における産業振興施策の方向性及び具体的施策の検討に資するため

2. 調査概要

調査対象: 第 1 次アンケート回答票にメールアドレスを記載した企業 2,278 企業

実施時期・方法: 平成 29 年 1 月

メールで協力依頼、WEB アンケートで回答

調査内容: ①産業振興施策の方向性として設定した下記の 8 つのテーマへの関心、具体的
事業案アイデア

②産業都市としての「新宿」が有するイメージ

③新宿区の今後の産業振興の方向性に対する意見

回 答 数: 有効配布数: 1,842 件 有効回答数 369 票 有効回答率: 20.0%

8 つのテーマ

- ・新事業展開・事業の多角化
- ・ネットワークづくり
- ・事業承継
- ・海外展開
- ・情報化の推進
- ・観光を活かした事業展開
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催を活用したビジネス展開
- ・人材の雇用・働く環境の向上



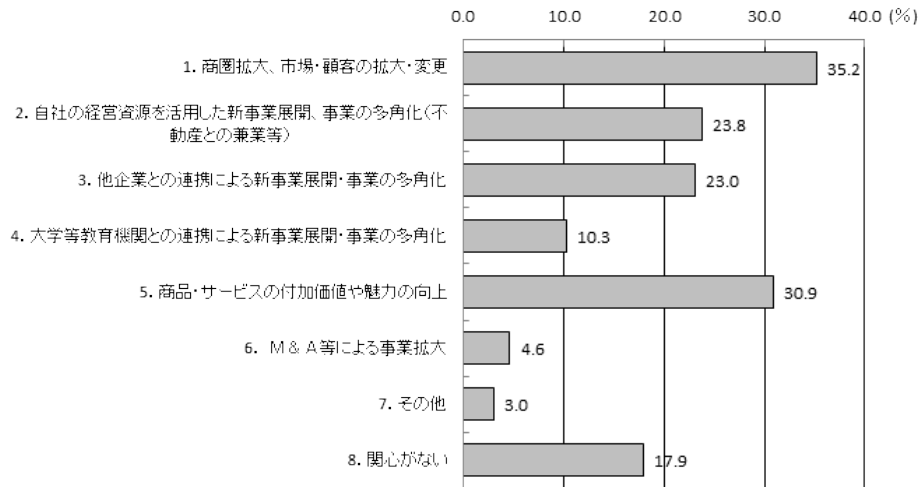
関心が高かった項目（上位 3 位）

- 1 位: 新事業展開・事業の多角化
- 2 位: 人材の雇用・働く環境の向上
- 3 位: 情報化の推進

3. 項目別結果

①新事業展開・事業の多角化

市場・顧客開拓と魅力向上に関心が高い。

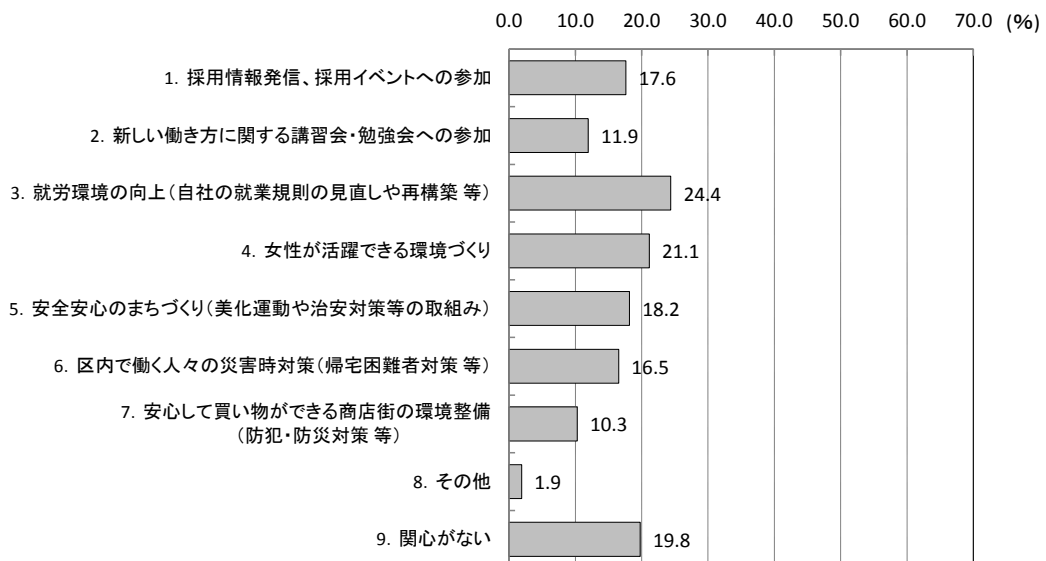


【企業コメント】

- BtoB 市場から BtoC 市場への販路拡大や海外展開も視野に入れている。(製造業)
- 若い人が起業しやすい環境(場所、金)が創生されれば、踏み出せない者の後押しができるのではないかと(専門・技術サービス業)
- 情報発信の仕組みに Web 標準技術を用いて、いままでにない印刷物感覚を超えた閲覧機能の提供と配信サービス。(情報通信業)
- 同業・異業種に関わらず、相互に仕事の斡旋(紹介)を行う。(印刷業)
- 事業承継を考えている小規模企業の事業を譲り受けたい。(情報通信業)

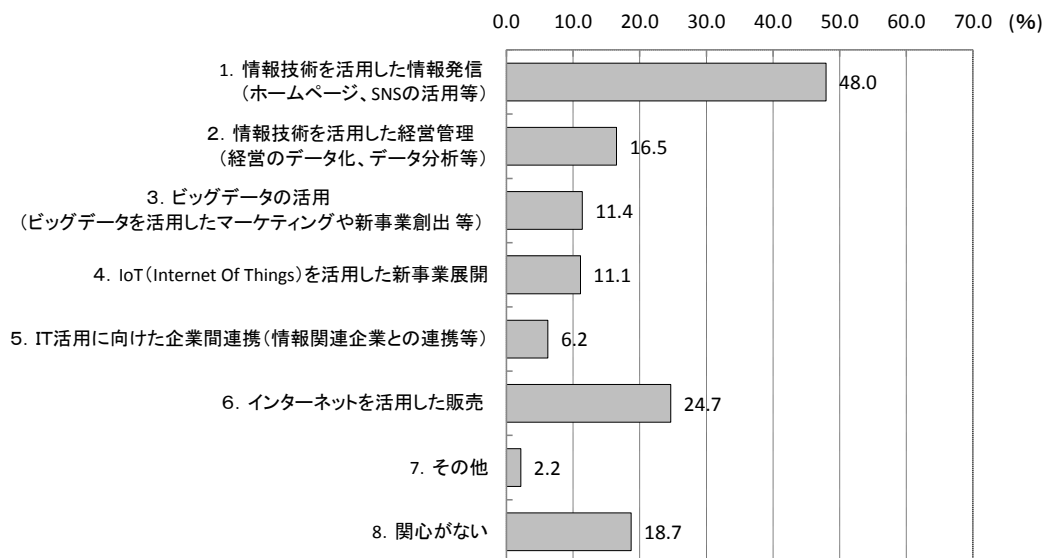
②人材の雇用・働く環境の向上

人材の確保が困難な環境や働き方改革等の社会動向を踏まえた項目が上位となった。



③情報化の推進

情報発信とネット販売への関心が高い。特に、多数がホームページの充実を挙げている。

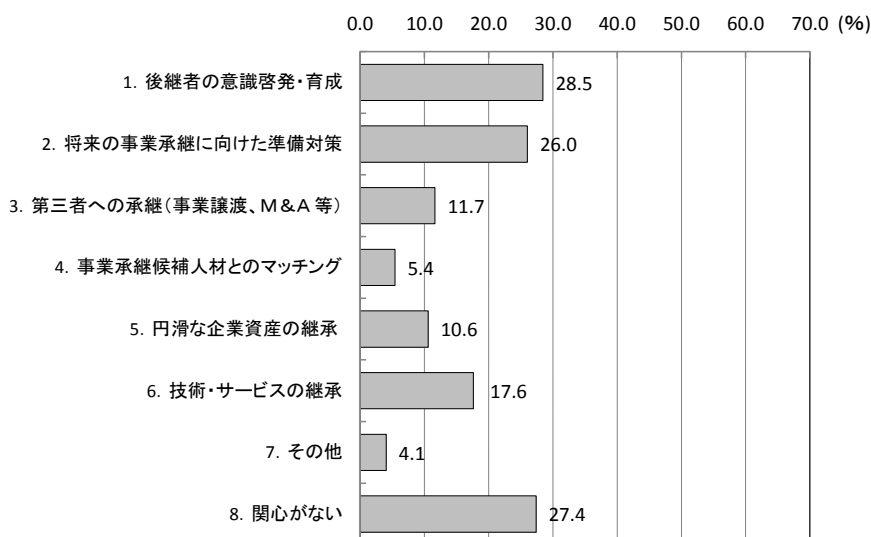


【企業コメント】

- 個人商店だから、データを分析しても生かしきれない。逆にそういったところを相談できる窓口があれば、これまた嬉しい。(卸売業)
- ビッグデータは過去の話。これからは少ない情報でも有益にする方法論 (実際人間の脳が日常的にやっている事、スパースモデリングのような事案) が増えると思う。(情報通信業)

④事業承継

後継者の意識啓発や準備対策といった事業承継に向けた準備段階への関心が高い。

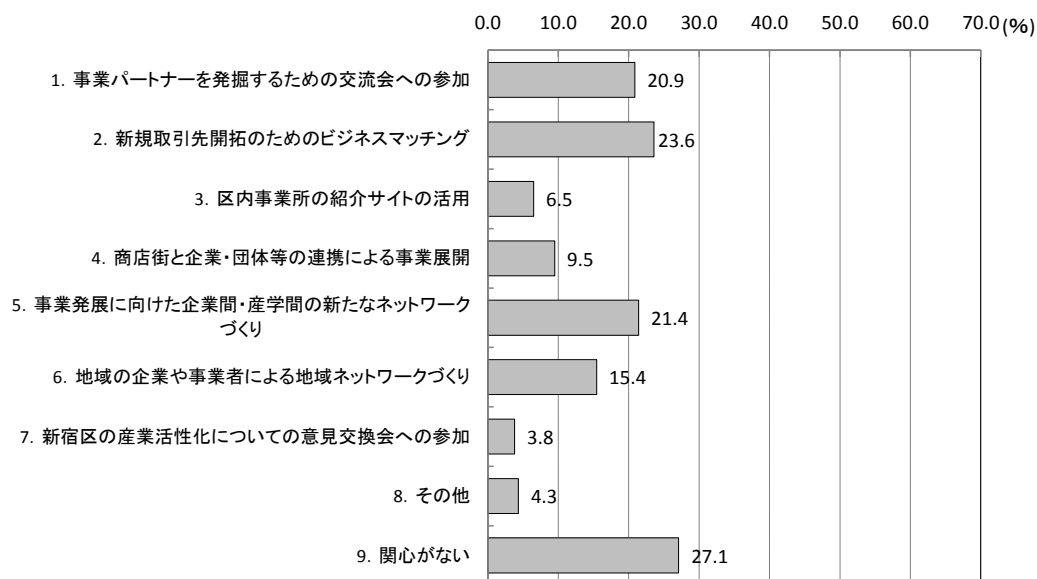


【企業コメント】

- 新宿区内の中小企業の場合は、第三者承継望ましいと思うが、創業者 (オーナー) 家の問題が障壁になっている。その障壁を除くか下げるような取り組みが望ましい。ワークショップ等の開催から始めてはどうか。(情報通信業)

⑤ネットワークづくり

マッチングや交流会等、ネットワークづくりに向けた具体的活動への関心が高い。

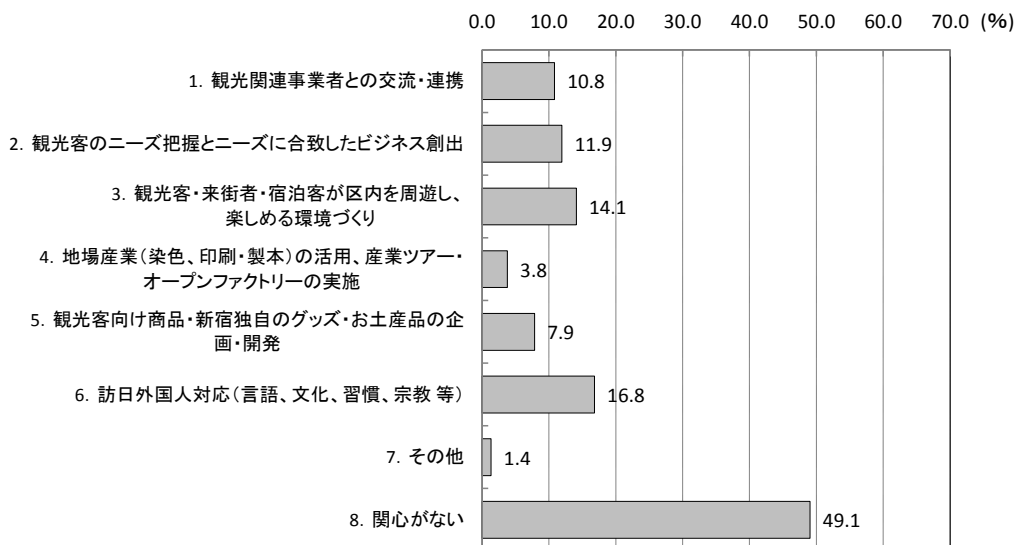


【企業コメント】

- 高田馬場で花の育種家、生産者、流通、IT 専門家小売店、行政等交えて勉強会を開催。いずれはグループでの共同仕入れ、販売を育種の段階から連携し、計画栽培→オリジナル商品の販売をしたい。(小売業)
- 事業パートナー交流会は大体行って見ないと、どんな企業がきているか分からず空振りに終わることが多い。パートナーになりそうな組み合わせを想定した交流会を開く。例えば、コンピュータに弱い企業(町工場とか)と、コンピュータ系の企業の交流会等。(情報通信業)
- 例えば、特許等の必要な事務手続きを代行する(区の推薦企業)がある。それを商品化する具体的なプランナー(区の推薦企業)がいる。今まで各個人、各企業が各々でやっていた自己努力を区が後押しする事で少しずつ全体を活性化させられないか。(情報通信業)

⑥観光を活かした事業展開

小売、飲食店では、外国人とのやりとりが課題となっている傾向にある。

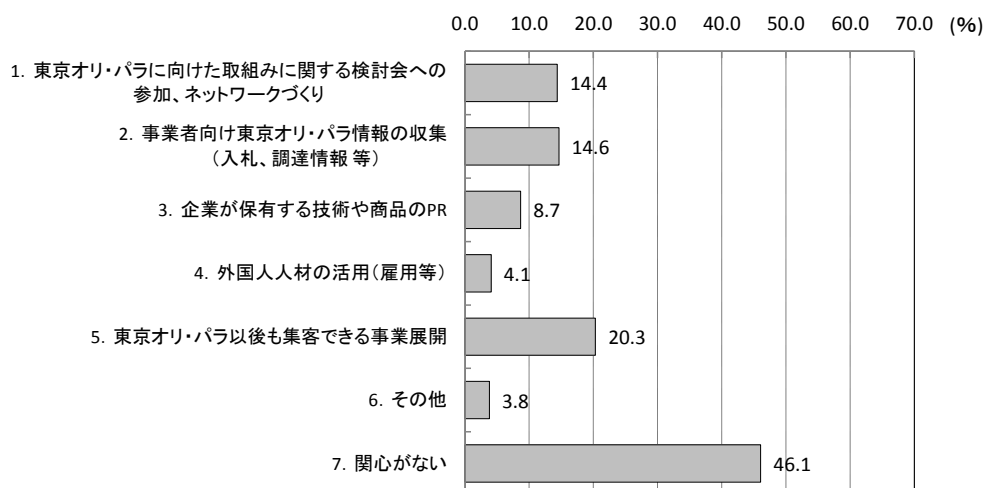


【企業コメント】

- タブレットの翻訳ソフトを使用すれば もう少し意思の疎通ができるかも。(飲食サービス業)
- 飲食店向けの電子メニュー(外国語表記で毎日変更できる)のソフトを開発中。(情報通信業)

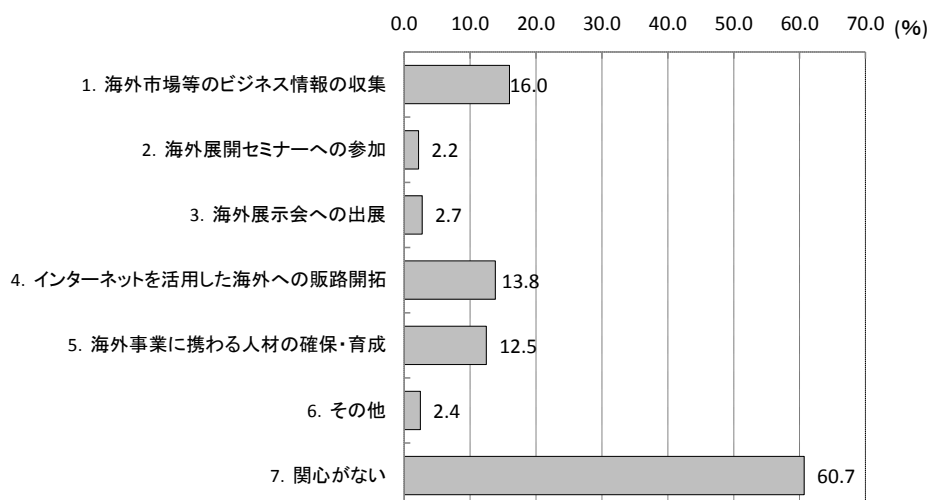
⑦東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を活用したビジネス展開

終了後の落ち込みや一過性にならないようにするための対策への関心が高い。



⑧海外展開

ビジネス情報の収集への関心が高い。



【企業コメント】

- 海外に向けたビジネスやインバウンドに対して関心は強いが、具体的に何をするかという方向性は定まっていない。(その他)
- 海外の情報を収集したいが、中々その機会に恵まれていないのであれば参加したい。(不動産業)
- 海外向けのHP作成等について気軽に相談できる窓口があると助かる。(卸売業)
- アメリカで運営されているネット販売サイトで販売を始めた。(日本で海外向けサイトを作っても見てもらえない。現地のサイトに掲載する方が消費者につながる)(製造業)

4. 新宿区の今後の産業振興の方向性に対する意見

【産業振興と観光振興】

- 産業都市にするなら、もっと中小企業に補助を。観光都市にするなら「安心・安全・清潔」を。(印刷業)
- 起業しやすい、商売しやすい町になれば良いと考える。(小売業)

【支援側も情報化の推進を】

- このようなアンケートは時々あればいい。やはり、経営者といえどもその時々で思考や方向性が変わることがある。(製造業)
- 助成金や各種企業にとって興味のある内容を、いろいろな企業にアンケートをとり、興味の内容を分類し、同じ興味のある会社にもメールで月に1回か2回その内容をお知らせメールするようなことをしたらよいのではないか。(情報通信業)